

貯法 室温保存、密封容器

承認指令書番号

27動薬第2472号

アミノグリコシド系抗生物質製剤

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

## 硫酸カナマイシン注 250「KS」

カナマイシン硫酸塩注射液

## 【本質の説明又は製造方法】

本剤は、アミノグリコシド系抗生物質カナマイシン硫酸塩を有効成分とする注射用抗生物質製剤です。

カナマイシン硫酸塩は、グラム陽性菌、グラム陰性菌などに対して殺菌的に作用します。

## 【成分及び分量】

本品1 mL中

有効成分	含量
カナマイシン硫酸塩	250 mg (力価)

## 【効能又は効果】

有効菌種

パスツレラ

硫酸カナマイシン感受性の次の菌種：ブドウ球菌、コリネバクテリウム、大腸菌、サルモネラ、プロテウス

適応症

牛：肺炎、気管支炎、細菌性下痢症、細菌性関節炎、乳房炎

豚：肺炎、細菌性下痢症

鶏：大腸菌症

## 【用法及び用量】

1日1回体重1 kg当たりカナマイシンとして下記の量を筋肉内に注射する。

牛：5～10 mg (力価) [本品として0.02～0.04 mL]

豚：10～20 mg (力価) [本品として0.04～0.08 mL]

鶏：25～50 mg (力価) [本品として0.1～0.2 mL]

## 【使用上の注意】

(基本的事項)

## 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- 本剤は、効能・効果において定められた適応症の治療のみ使用すること。
- 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、4日以上にわたる連続投与は行わないこと。
- 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（牛、豚、鶏）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

牛：食用に供するためにと殺する前30日間又は

食用に供するために搾乳する前36時間

豚：食用に供するためにと殺する前30日間

鶏：食用に供するためにと殺する前14日間又は

食用に供する卵の産卵前10日間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。

- 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものは除く。）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。

- 誤用を避け、品質を保持するため他の容器等に入れかえないこと。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(対象動物に関する注意)

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

## (専門的事項)

## ①重要な基本的注意

- 注射針を刺入したとき疼痛を訴えたり、血液の逆流を見た場合は直ちに針を抜き、部位を変えて注射すること。
- 連続して使用する場合には、同一部位を避けること。
- 本剤を牛または豚に投与する場合は、頸部または耳根部に投与すること。

## ②相互作用

- 本剤とデキストラン、アルギン酸ナトリウム等腎障害を起こすおそれのある血液代用剤との併用は腎毒性を増強することがある。
- 本剤はクラール様作用（神経筋接合部遮断作用）による呼吸抑制が見られることがあるので麻酔剤、筋弛緩剤との併用は慎重に行うこと。
- 本剤はフロセミド等の利尿剤との併用により腎毒性及び聴器毒性が増強されるおそれがあるので、これらの利尿剤との併用は避けること。

## 【薬理学的情報】

(薬物動態)

- 各動物に本剤を筋肉内投与した場合の薬物動態パラメータを次表に示す。

動物	体重 (kg)	投与量 (mg(力価)/kg)	t <sub>max</sub> (時間)	C <sub>max</sub> (μg(力価)/mL)	AUC <sub>0-∞</sub> (μg(力価)・hr/mL)
牛	約54.6	5	0.5～1	13.3	34.2
豚	約14.8	10	0.5	27.1	52.5
鶏	約2.3	25	0.5	52.4	162.7

(薬効薬理)

- カナマイシン硫酸塩は、細菌のリボゾームの30S及び50Sサブユニットに結合してたん白合成を阻害するとともに、細胞膜を破壊し、殺菌的に作用する。

**【包装】**

20 mL×10バイアル

100 mL×5バイアル

**【製品情報お問い合わせ先】**

共立製薬株式会社 学術

〒102-0073

東京都千代田区九段北一丁目11番5号

TEL：03-3264-7559

製造販売業者  
 **共立製薬株式会社**  
東京都千代田区九段南 1-6-5

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。